

第1章 倉敷市の概要

1 位置及び地勢

倉敷市は岡山県の南部，岡山平野の西部に位置し，東部は岡山・玉野の両市に，北部は総社市に隣接している。

市域は県下三大河川の一つに数えられる清流豊かな高梁川が瀬戸内海に形成した沖積平野と，その背後地である緩やかな丘陵で成り立っており，高梁川とこの丘陵によって倉敷・水島・児島・玉島・船穂・真備の6つの地区に分かれている。



倉敷市は、浅口市と、倉敷西部清掃施設組合を、総社市とは、総社広域環境施設組合を組織している。また、岡山県ごみ処理広域化計画において、倉敷市は、総社市、早島町とともに倉敷ブロックに、浅口市は笠岡市などと西部ブロックに、区割りされている。

東 経	北 緯	面 積
133度46分19秒	34度35分06秒	355.63 km ²

2 市勢

本市は、旧倉敷市、旧児島市、旧玉島市の3市が、昭和42年2月に合併して、新しい「倉敷市」として誕生し、その後、昭和46年に隣接の庄村を、翌47年に茶屋町を編入して市域を拡大した。

この間、昭和30年代後半から40年代にかけての水島臨海工業地帯の順調な成長に伴い、都市基盤も急速に整備され、岡山県南産業都市の雄都として、また、東瀬戸広域経済の中核都市として大きく発展を遂げてきた。また、一面において往時を偲ぶ倉敷川畔の白壁土蔵づくりの町並みは、心のふるさととして万人に愛される格調ある町として知られている。

また、平成14年4月には中核市となり、平成17年8月には船穂町、真備町と合併し、市民サービスの向上、地域の特性に応じた個性ある町づくりの推進などを通じて「安心して暮らせるまち」の実現に向けて取り組んでいる。

3 市制の沿革

年 月 日	旧倉敷市	旧児島市	旧玉島市
昭和3年4月1日	市制施行 倉敷市		
昭和5年8月1日	福田町の一部編入		
昭和19年1月1日	中洲町編入		
昭和23年4月1日		市制施行 児島市	
昭和25年9月1日	粒江村編入		
昭和26年3月28日	菅生村編入 中庄村編入 帯江村編入		
昭和27年1月1日			市制施行 玉島市
昭和27年4月1日	豊洲村の一部編入		
昭和28年1月1日	西阿知町編入		
昭和28年2月11日			長尾町編入
昭和28年4月1日			黒崎町編入 富田村編入
昭和28年6月1日	福田町編入 連島町編入 藤戸町編入		
昭和29年12月1日			
昭和31年4月1日		琴浦町と合併	穂井田村の一部編入
昭和34年3月31日		郷内村の一部編入	
昭和42年2月1日	倉敷市・児島市・玉島市が合併し、新市名「倉敷市」となる		
昭和46年3月8日	庄村編入		
昭和47年5月1日	茶屋町編入		
平成13年4月1日	保健所政令市移行		
平成14年4月1日	中核市移行		
平成17年8月1日	船穂町、真備町編入		

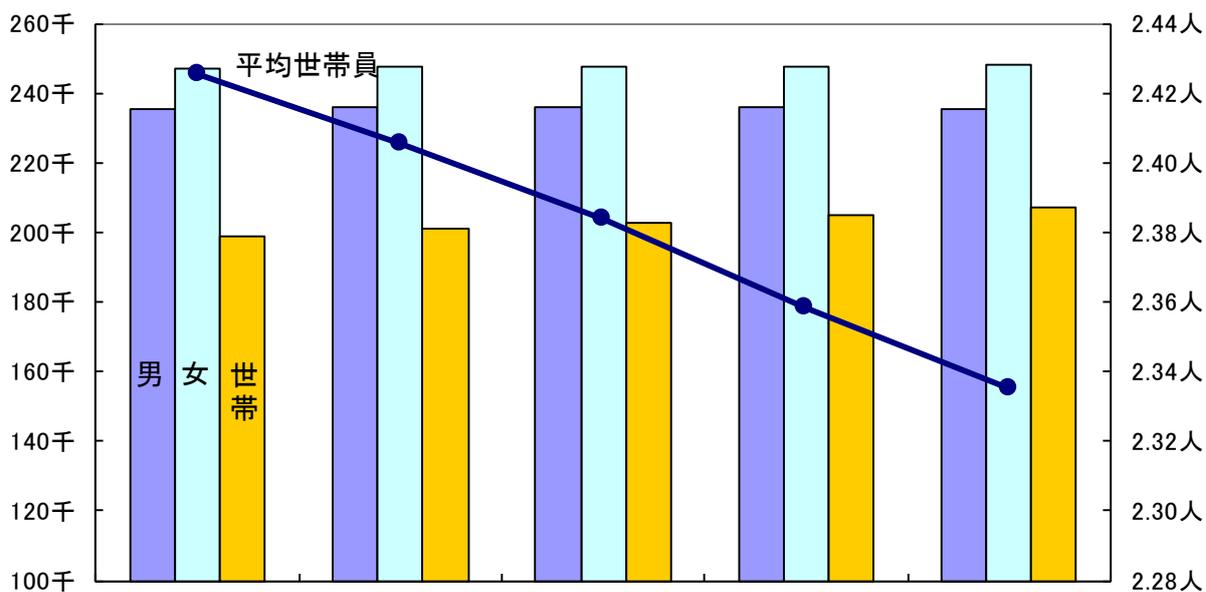
4 地区別の人口・世帯数・面積

(平成29年3月31日現在)

地区名		男(人)	女(人)	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)
倉敷地区	庄地区	7,338	7,903	15,241	6,520	13.84
	茶屋町地区	7,965	8,420	16,385	6,395	5.25
	旧倉敷地区	95,466	102,678	198,144	84,872	旧倉敷+ 水島=
	小計	110,769	119,001	229,770	97,787	
水島地区		45,164	43,864	89,028	39,905	140.80
児島地区		33,807	36,378	70,185	30,767	80.33
玉島地区		31,131	33,087	64,218	26,871	60.35
船穂地区		3,644	3,891	7,535	2,899	10.87
真備地区		11,090	11,750	22,840	8,882	44.19
全市計		235,605	247,971	483,576	207,111	355.63

※ 面積は、平成28年10月1日現在

5 人口及び世帯数の推移（棒グラフ）・1世帯当たりの平均人数（折れ線グラフ）



		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
人口	合計	482,456人	483,134	483,537	483,547	483,576
	男	235,539	235,661	235,863	235,753	235,605
	女	246,917	247,473	247,674	247,794	247,971
世帯数		198,936世帯	200,833	202,827	205,042	207,111
平均世帯員		2.43人/世帯	2.41	2.38	2.36	2.33

